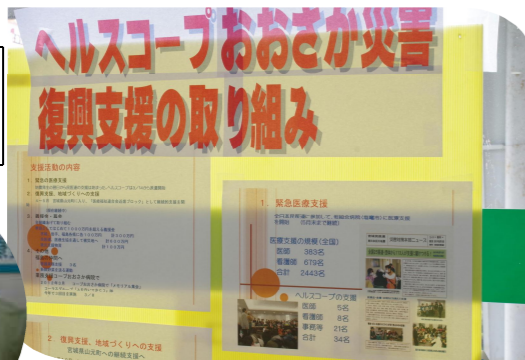


医学生の支援
活動を紹介



コープおおさか病院

東日本大震災復興支援メモリアル集会

森松明希子さんをお迎えして 2014. 3. 8 (土) 14:00~



東日本大震災発生から丸3年経ち、震災といまだに続く原発事故を改めて問い直す機会として、3月8日(土)の午後、3回目となるメモリアルイベントをコープおおさか病院1階ロビーで開きました。

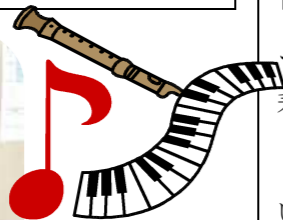
今回は、原発事故で大阪に避難してこられた森松明希子さんをお招きし、事故直後の生活から母子避難を決意し、国と東電に賠償を求める訴訟の原告となるまでを語っていただきました。これまでさまざまな被災の状況を目にしてきましたが、当事者の言葉はたいへん重く、心に響きました。復興や帰還が叫ばれる中、低線量被曝にさらされる不安を共有し、子どもたちの未来をもっと考えなければならないのではという課題もみえました。

ロビーでは、組合員さんの100円喫茶や、ボランティアサークル「やすらぎ」のおはぎ、食養科手作りのパウンドケーキの他、石巻のわかめや海苔、支援に行った岡田産の味噌や山元町のイチゴジャムを販売しました。収益金は被災者のもとへ届けます。震災支援をきっかけに結成した職員と家族、看護学生らによる「上を向いて歩こう隊」の合奏もあり、被災地へ想いはせました。

これからも被災地の現状と課題をしっかり共有して、わたしたちに何ができるのかを改めて考えていきたいと思います。



職員家族が歌で初参加♪



水野理事長の代役で
今江参与が指揮を



「ふるさと」を手話コーラスと一緒に



森松さん親子も最後までイベントに
参加してくれました



主催：メモリアル集会実行委員会

